

診療情報及び診療時に採取・保管された検体を用いた研究に関するお知らせ

愛知県がんセンター

愛知県がんセンターでの診療情報および診療時に採取・保管された検体を下記の研究に用いることになりましたのでお知らせします。

記

1. 研究責任者	茶谷祥平
2. 研究課題名	腸骨動脈尿管瘻に対するカバードステント留置症例の検討
3. 研究の目的・方法	腸骨動脈尿管瘻による尿管出血に対して腸骨動脈にカバードステントを留置して対処した症例の治療効果を調査する。 研究期間：平成30年6月1日から平成31年6月まで (遺伝子解析：行わない)
4. 研究の対象となる方	平成24年2月から平成30年5月までの間に当院で腸骨動脈尿管瘻に対してカバードステントを留置した症例。
5. 研究に用いる検体・情報の種類	検体名() 診療情報内容(診療録、画像データ等)

- ① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当センターの倫理審査委員会などにおいて厳重に審査され、承認されています。
個人情報の安全保護については、万全の体制下にて管理され実施されます。
また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。
- ② 具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いることを拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

☆お問い合わせ☆

愛知県がんセンター 中央病院臨床試験部試験支援室
倫理審査委員会事務局

住所：〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号

FAX：(052-764-2963)

e-mail: irb@aichi-cc.jp

(お問い合わせは、FAX、e-mail 又は郵送でお願いいたします。)